課題整理総括表

利用者名　A　様　　作成日　令和6/2/15

自立した日常生活の阻害要因（心身の状態、環境等）			
	①右股関節の痛み	②長女はフルタイム勤務	③抑うつ傾向
	④転倒への不安がある	⑤心不全への病識が薄い	⑥段差がある

利用者及び家族の生活に対する意向	
	本人：家で娘と二人で今までのように暮らしたい。 長女：退院後は、家事と仕事が両立できるか不

状況の事実 ※1		現在 ※2	要因※3	改善/維持の可能性※4	備考（状況・支援内容等）	見通し ※5	生活全般の解決すべき課題（ニーズ）【案】	※6
移動	室内移動	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	・短距離は独歩屋外歩行は痛み			
	屋外移動	自立 見守り 一部介助 全介助	①③④	改善 維持 悪化	不安が強くあまり実施なし			
食事	食事内容	支障なし 支障あり	②⑤	改善 維持 悪化	間食が多い.食事回数3回、水分1ﾘｯﾄﾙ			
	食事摂取	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	医師：塩分、水分、血圧に気を付ける			
	調理	自立 見守り 一部介助 全介助	①④	改善 維持 悪化	事で心不全の悪化予防が期待できる			
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	しゃがみ動作に右股関節の痛みあり			
	排泄動作	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化	動作に時間がかかる尿便意正常			
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	総義歯			
	口腔ケア	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化				
服薬		自立 見守り 一部介助 全介助	⑤③	改善 維持 悪化	入院時は看護師、自宅ではお薬			
入浴		自立 見守り 一部介助 全介助	①③④	改善 維持 悪化	カレンダー利用も飲み忘れあり			
更衣		自立 見守り 一部介助 全介助	①③④	改善 維持 悪化	・入浴や更衣（下半身）に見守り介助			
掃除		自立 見守り 一部介助 全介助	①③④	改善 維持 悪化	をうけている。洗身は自立			
洗濯		自立 見守り 一部介助 全介助	①③④	改善 維持 悪化	・掃除・洗濯は長女と一緒に行う			
整理・物品の管理		自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化				
金銭管理		自立 見守り 一部介助 全介助	③	改善 維持 悪化	・通帳管理は長女、少額は本人管			
買物		自立 見守り 一部介助 全介助	①③④	改善 維持 悪化	理			
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	軽度の聴力低下			
認知		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	やや抑うつ傾向			
社会との関わり		支障なし 支障あり	①③④	改善 維持 悪化	自宅では老人会やカラオケには参加			
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化				
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化				
介護力（家族関係含む）		支障なし 支障あり	②	改善 維持 悪化	長女は就労日中は独居・介護者は長女のみ			
居住環境		支障なし 支障あり	⑥	改善 維持 悪化	・段差・てすりはない医師：継続的なリハビリでADLの改善可能性あり			
				改善 維持 悪化	年金11万/月・持ち家			

※1　本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
※2　介護支援専門員が収集したた客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
※3　現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号（丸数字）を記入する（複数の番号を記入可）。
※4　今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5　「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況（目標）を記載する。
※6　本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「－」印を記入。